



武庫の宝

令和6年 5月号



三田市立武庫小学校長 大向 勲

《実感したあたたかさ そして 「有り難い」 》

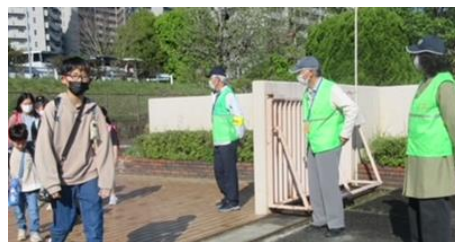
武庫小に着任する際、たくさんの方から「武庫はほんとに地域があったかいよ！」と聞いていました。私が親しくしている武庫小に以前勤めていた先生方も口をそろえておっしゃっていました。

まだ20日あまりではありますが、その「熱量」を肌で感じ、私は感激しっぱなしの日々でした。登下校の見守り、あいさつ運動など私が目の当たりにしたものは限られていますが、様々な武庫小を支えていただいている皆様とお出会うたびに、まだまだこれから実際の活動を目にするたびに感動するのかなと思い、わくわくしております。

私が拝見するのが大変楽しみにしていたひとつが「給食準備支援ボランティア」でした。前任校からの「夢」でした。それが実現している本校ではどのように運営されているのか、純粋に興味がありました。



言葉として適切かどうかわかりませんが、「圧巻」でした！事前の打ち合わせから始まり、1年生の各教室へ。はじめての給食当番さんへの様々なサポート、配膳される間着席して待つ当番以外の子への見守り、トラブルへの対応等々…。配膳がすべて終わり、子どもたちが先生の合図でお礼を言います。「ありがとうございました。」子どもたちは、こういった瞬間に「感謝」を学ぶのだろうなあと感じながら、あたたかい気持ちになりました。教室を後にしたあとも振り返りをされ、それを学校にもフィードバックしていただきました。そしてそこに記された文面にさらに力をもらいました。まさに「有り難い」です…。



ゴールデンウィークが始まります。新年度が始まり、張り切ってスタートした子どもたちです。疲れもたまっているでしょう。しっかりリフレッシュして運動会の練習も始まる5月、元気に登校してくれることを願っています。